



第30回大分県消防操法大会に出場しました！



平成30年8月19日（日曜日）、大分県消防学校で大分県消防操法大会が開催され、宇佐市代表として第18分団（安心院）が出場しました。この大会は、県内消防団員の消防操法の向上と士気の高揚を図り、もって消防活動の充実発展に寄与することを目的とし、今年で30回目となります。選手は指導員や団員のサポートを受け、4月から仕事終わりに厳しい訓練を重ね今大会を迎えました。結果は優勝こそ逃しましたが、日ごろの訓練の成果を発揮し優秀な成績を残すことができました。

消防操法とは、基本的な小型可搬ポンプの操作の習得を目指すための手順で、約60メートル先に設置された火災現場を想定した「火点」と呼ばれるものにめがけて放水して倒すものです。火点が倒されるまでのタイムや器具操作と動きの正確さを採点し、減点が少ないチームほど上位となります。

宇佐市初の応急手当普及員が誕生しました！



平成30年6月6日（水曜日）に宇佐市初となる応急手当普及員が誕生し、市消防本部にて認定式を行いました。認定されたのは中嶋麻由美部長をはじめとする宇佐市消防団女性部10名で和氣消防長から認定証を交付されました。女性部は3月から講習を開始し、5月末までに24時間ある講習をすべて修了し資格を取得しました。今後は市消防本部の救急隊員と連携して応急手当の普及啓発を行うとともに、市民の安心安全のために応急手当の知識と技術の向上に努めていくことを誓いました。

平成30年度秋の全国火災予防運動防火標語

「忘れてない？ サイフにスマホに 火の確認」

分団紹介 第16分団



私達、第16分団は宇佐市院内町の中央部（院内・東院内地区）を分団長以下54名、4部構成で担当しています。春・秋の火災予防、防火パレードなど基本的な活動のほか、各部毎に積載車による広報活動を定期的に行ったり、昨年9月に実施された宇佐市及び院内圏域地域包括支援センター主催による「認知症等行方不明者捜索模擬訓練」へ地元消防団として参加するなどの活動をしています。昨年7月の大雨及び平成30年7月豪雨など地域住民からの要望で出動した際に感じたことは、一人暮らしの高齢者や高齢夫婦の世帯にとって、地元消防団員は頼れる存在であるという事を実感し、組織としての必要性を再確認しました。務める場所や勤務形態により、緊急時に出動困難な団員が増えている状況や少子化により地元に残る若者も限られる中での団員募集の継続はもとより、在籍団員が各種講習会や訓練に積極的に参加し、地域住民の安全・安心を守る消防団でありたいと思います。



あなたのチカラを消防団に あなたも消防団に入ませんか！

宇佐市消防団では、地域に根ざす消防団員を募集しています。

「自らの地域は自らで守る」をモットーに、市民が安心・安全に暮らせよう崇高な消防精神をもって活動しています。

入団をお待ちしています。あなたにもできること、きっとあるはずです。



消防団とは？

消防団の活動は消火だけではありません。地域における消防防災のリーダーとして、平常時・非常時を問わずその地域に密着し、住民の安心と安全を守るという重要な役割を担っています。

消防団の活動とは？

消防団は、地域で発生した火災の鎮圧や地震・風水害などの各種災害の防ぎょ活動はもちろんのこと、災害が発生したときだけではなく、災害の予防広報活動など幅広い業務を行っており、地域における消防・防災の中心的な役割を担っています。

私たちの街には

宇佐市消防団は、市内各地域で22分団に分かれており、1,068人の団員が活躍しています。その内、女性は14人で活躍しています。

どんな人を募集しているの？

18歳以上の元気でやる気のある方を求めています。もちろん女性や大学生、市内に勤務している人なら市外に在住の方でもかまいません。女性であれば、宇佐市消防団女性部という女性ならではの活躍の場があります。消防団は誰にでも参加できる活動です。そんなあなたのチカラが消防団には必要です。

まずは、下記の宇佐市消防本部に連絡してください。よくわからないこと、聞いてみたいことだけでも結構です。活動にご理解をいただき入団手続をしていただければ、晴れてあなたも消防団員です。

お問い合わせ先：宇佐市消防本部総務課消防団係

TEL:0978-32-0119 (内線46)

ホームページ: <http://www.city.usa.oita.jp/>